

# 旧吉倉小 婚前写真 スポットに

1983(昭和58)年に閉校した津幡町の旧吉倉小の木造校舎が、結婚式の婚前撮り写真のスポットとしてひそかに人気を集めている。ここ1年間で国内外の5組以上のカップルが撮影に臨んだ。閉校以来、静けさに包まれていた校舎に新婚カップルの笑い声が響き、町は「新郎新婦の思い出の1ページに津幡町を加えてもらってありがたい」と歓迎している。

旧吉倉小は1950(昭和25)年に建設された木造校舎で、体育館の黒板の字や教室の掲示物なども閉校当時のまま残されている。現在は津幡町歴史民俗資料収蔵庫として活用され、主に明治期以降の資料約5千点が収蔵されている。

東京や大阪など国内15都市、パリやニューヨークなど海外6都市に撮影拠点を設け、婚前写真を手掛ける「ラヴィ・ファクトリー」が昨年4月ごろ、レトロで温かみのある木造校舎に着目し、町に使用許可を求めた。町は津幡のPRと施設の有効活用にもつながると許可し、夏ごろから

## 津幡、木造校舎人気

## 「まるで映画のワンシーン」



趣が残る木造校舎で婚前写真の撮影に臨む香港人カップル —津幡町吉倉

ラヴィ・ファクトリー金沢スタジオのホームページ(HP)にひがし茶屋街などの定番の撮影地とともに掲載されている。同スタジオによると、県内外のほか海外客からの問い合わせもあるという。

18日は香港から新郎の会社員張智傑さん(33)と新婦の会社員梁翠萍さん(33)が撮影に訪れ、タキシードとドレスに身を包んで撮影に臨んだ。張さんは「映画のワンシーンのようだ」と古い校舎の趣に感激した様子で、梁さんは「結婚は一生に一度だけ。2人の大切な思い出として胸に刻み、共に歩んでいきたい」と話した。

金沢スタジオは2006年9月にオープンし、結婚式やスタジオ撮影をメインとしていたが、撮影地に向いて婚前写真を撮影する需要が高まり、ロケーション撮影事業を始めた。

同スタジオによると、婚前写真は年間220件程度の申し込みがあり、北陸新幹線開業前と比較すると約2倍に増えた。カメラマンの吉村康宏さん(35)は「関東方面からの撮影希望者かなり増えた。石川ならではの撮影場所を今後も提案していきたい」と話した。

### 過疎地域の課題 解決へセミナー

#### 珠洲でSDGスラボ

「能登SDGスラボ」過疎地域の課題解決セミナーは19日、珠洲市の珠洲商工会議所で開かれ、ソフトウエア会社サイボウズ(東京)の野水克也社長室フェロー||金沢市出身||が少子高齢化や人口減少の課題解決に向けたサービスや自社の取り組みを紹介した。

「誰も取り残さない働き方改革」こそが過疎地の唯一の生き残り戦略」と題し、約40人を前に講演した野水氏はクラウドソーシングを活用し、より多くの人が成長し、長く働ける環境作りを支援していることなどを説明した。

### 瑞宝双光章を受章 風端さんたたえる

#### 珠洲で伝達式

珠洲市の旧日置中学校長な

### 今夏に財政 事業や住居

#### 市町議公

#### 【中能登町】本会議を再開し、林真弥(無所属)、坂井幸雄(同)、笹川広美(公明党)、土本稔(自民党)、古玉いづみ(無所属)、諏訪良一(同)の6氏が順に一般質問した。答弁で本栄町長は、町の事業や住民サービスのあり方を見

の開催に向けた準備作業に力を入れる。建設課の都市生活環境課の水道と下水道の両係を上下水道係に統合

珠州市総務課長に加賀氏